

奎さんと春代さんを囲む会を行いました

当初5日の予定でしたが、都合の悪い方が多く、12日に変更になりました。5日なら参加できたのに、と言う方には本当に申し訳ありませんでした。

事務所にいらした奎さんは、春代さんの写真ににこっとされて、思ったよりもずっとお元気でした。

調布福祉園の関係者の方たちは、奎さんが春代さんの後を追うのではないかと心配され、しょちゅう春代さんにお線香を上げにきてくださったそうです。

私たちも67年間奎さんの宝物だった春代さんをなくし、一時は色々な手続に時間をとられ、悲しみに暮れる時間がないだろうと思いましたが、あれやこれやが落ち着いたとき一気に喪失感に襲われるのではないかと皆が危惧していました。

ところが、私たちの思いとは違い、奎さんは今は引っ越しも自治会の担当も、春代さんの手続もあって忙しくて仕方ない。ご自分でも春代さんが亡くなってどんなに落ちこむかと思っていたが、「あるときふっと春代が私の中に入ったような気がしたんです。それから少しも寂しくありません。」と春代さんと一体になれたと明るい表情でお話しされていました。

奎さんから、成年後見制度の運用の煩瑣なこと、病院での異性介助にとっても抵抗があったこと、新しく春代さんのために福祉園近くを買ったマンションで春代さんと過ごせる時間があったこと、などなどたくさんのお話をしていただきました。

そして、「これからの人生、私は私のために生きてます！」とも。奎さん、いつまでもお元気で私たちの目標のままでいらしてください。



春代さんと奎さんからネットワークにたくさんのご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。